



こ だ い ら

市議会だより



令和元年(2019年)11月3日 NO.241 発行／小平市議会 編集／広聴広報特別委員会
〒187-8701 東京都小平市小川町二丁目1333番地 TEL 042(346)9566
小平市議会ホームページ <https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>
電子メール gikai@city.kodaira.lg.jp



みんなで学ぶ災害対策（令和元年度 小平市総合防災訓練）

令和元年9月定例会は、9月3日から30日まで28日間の会期で開催されました。

この定例会では、令和元年度一般会計補正予算（第2号）など26件の市長提出議案を可決・同意しました。議員提出議案は、選択的夫婦別姓制度について十分な国会審議を求める意見書など3件を可決し、請願は1件を採択し、1件を閉会中の継続審査としました。

なお、定例会最終日に提出された平成30年度各会計歳入歳出決算の認定議案については特別委員会を設置し、閉会中の継続審査としました。

また、9月4日から3日間にわたり、25人の議員から52件の一般質問がありました。

9月定例会

令和元年度一般会計補正予算(第2号)など 29議案を可決

—平成30年度決算審査のための特別委員会を設置—

議会を傍聴
しませんか？

今後の

市議会の日程(予定)

開会時刻

原則として午前9時

場 所

市役所7階

傍聴される方は、
議会事務局へ
お越しください。

11月 4日（月）市民と議会の意見交換会（※1）
11月 5日（火）市民と議会の意見交換会（※1）
11月11日（月）公共施設マネジメント調査特別委員会（※2）
市民と議会の意見交換会（※1）
11月12日（火）総務委員会（※2）
請願・陳情締め切り（午前中）（※3）
11月13日（水）生活文教委員会
11月14日（木）厚生委員会
11月15日（金）環境建設委員会（※2）
11月21日（木）議会運営委員会（※4）
11月26日（火）12月定例会本会議（初日）
11月27日（水）12月定例会本会議（一般質問）

11月28日（木）12月定例会本会議（一般質問）
11月29日（金）12月定例会本会議（一般質問）
12月 3日（火）総務委員会
12月 4日（水）生活文教委員会
12月 5日（木）厚生委員会
請願・陳情締め切り（午前中）（※5）
12月 6日（金）環境建設委員会
12月10日（火）広聴広報特別委員会
12月11日（水）小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会
12月16日（月）議会運営委員会（※4）
12月19日（木）12月定例会本会議（最終日）
広聴広報特別委員会（※4）

1月14日（火）広聴広報特別委員会
1月15日（水）都市基盤整備調査特別委員会
1月16日（木）公共施設マネジメント調査特別委員会
1月22日（水）都市基盤整備調査特別委員会（※2）
1月24日（金）小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会
（※1）詳細は、8面をごらんください。
（※2）当日は現地視察を予定しており、委員会室での議案や請願などの審査または調査はありません。
（※3）12月定例会初日上程の受け付け期限です。
（※4）開始時間については、議会事務局にお問い合わせください。
（※5）12月定例会最終日上程の受け付け期限です。

日程、開会時刻等に変更や追加になる場合もありますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりの配布に関するお問い合わせは、小平市シルバー人材センター 042(344)2120 にご連絡ください。

可決または同意した
主な議案

令和元年度一般会計
補正予算（第2号）

本補正予算は、平成30年度の決算をもとに、繰越金の整理等を行い、これに伴い確保される財源を活用し、市の喫緊の課題である保育園待機児童の解消などに取り組みほか、基金積立金を増額し、財政基盤の安定化を図るものです。

歳出の主な内容としては、待機児童の解消に向けて、令和2年度に新規開設する私立保育園

平成30年度決算
特別委員会を
設置

（市長提案の説明要旨）

平成30年度の決算議案が9月定例会最終日に提出され、議会では審査のための特別委員会を設置しました。特別委員会は10月15日から4日間開催され、いずれの議案も認定すべきものと決しました。今後、12月定例会初日に委員長報告を行い、その後採決する予定です。

【一般会計】

歳入総額6百63億1千48万9千円、歳出総額6百43億1千5百18万2千円、実質収支19億8千7百27万7千円となりました。

歳入では、個人市民税や固定資産税が増となり、2年連続して前年度を上回りました。

歳出では、空き家等対策計画

1園の建築補助を行うほか、従来の幼稚園や認可外保育施設等を利用する子どもたちのために施設等利用費を支給します。

また、小・中学校、用水路及び道路などの維持管理費を増額するほか、駅前公衆喫煙所4か所の改良工事を行います。

そのほか、平成30年度の都市計画税の余剰分を都市計画事業基金に積み立てるとともに、繰越金の増に伴い、財政調整基金の積立額を増額しますが、歳入においては、財政調整基金からの繰入金を増額します。

補正予算の規模としては、歳入歳出それぞれ19億6千11万9千円を増額し、総額を6百85

の策定、老朽化したりサイクルセンターの更新、認可保育園の施設整備費の補助、立川市との図書館の相互利用の開始、都市計画道路の整備、市民窓口サービス改善の取り組みなど、小平市第三次長期総合計画に沿った事業を実施しました。

各種財政指標の一部に改善傾向が見られますが、民生費を中心とした歳出の増加が続いており、今後も持続可能な財政運営に努めていきます。

【国民健康保険事業特別会計】

歳入総額百73億6千4百82万8千円、歳出総額百72億5百23万4千円、実質収支は1億5千9百59万4千円となりました。

歳入では、国民健康保険税が前年度に比べ2・5%の増となり、一般会計繰入金は21億8千万円を繰り入れました。

歳出では、保険給付費が前年度に比べ1・8%の減となりました。

億1千11万円とします。

財源構成としては、事業の実施に伴い、国、都支出金及び地方債を補正するとともに、繰越金、普通交付税及び財政調整基金からの繰入金を増額します。

教育委員会教育長の任命

任期満了に伴う教育委員会教育長の任命について同意を求める議案が提出され、次のとおり任命することに同意しました。

古川 正之氏

教育委員会委員の任命

任期満了に伴う教育委員会委員の任命について同意を求める議案が提出され、次のとおり任

【後期高齢者医療特別会計】

歳入総額42億3千2百92万3千円、歳出総額42億5百96万3千円、実質収支は2千6百96万円となりました。

歳入では、保険料が3・7%の増、歳出では、広域連合納付金が3・9%の増となりました。

なお、後期高齢者医療制度の小平市の対象者は2万2千6百26人で前年度より増加しました。

【介護保険事業特別会計】

歳入総額百29億7百73万8千円、歳出総額百26億6千5百50万3千円、実質収支は2億4千2百23万5千円となりました。

歳入では、介護保険料等の増により1・8%の増、歳出では、保険給付費の増等により1・0%の増となりました。

第1号被保険者数は1・4%の増、要介護、要支援の認定者数は4・1%の増となりました。

【下水道事業特別会計】

歳入総額38億3千47万円、歳

命することに同意しました。

丸山 憲子氏

固定資産評価審査
委員会委員の選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める議案が提出され、次のとおり選任することに同意しました。

福井 知子氏

人権擁護委員候補者の推薦

法務大臣から委嘱される人権擁護委員の候補者を次のとおり推薦することに同意しました。

人権擁護委員候補者

石川 貞子氏

出総額33億9千19万1千円、実質収支は4億4千27万8千円となりました。本事業は平成31年4月1日から公営企業会計に移行し、3月31日で出納を打ち切りました。歳入は11・3%減、歳出は18・0%減となりました。

◎Ⅱ委員長 ○Ⅱ副委員長

一般会計決算特別委員会

◎小野 高一 ○中江 美和

伊藤 央 川里 富美

きせ恵美子 鈴木だいち

竹井ようこ 津本 裕子

橋本 孝二 福室 英俊

松岡あつし 水口かずえ

山崎とも子 幸田 昌之

特別会計決算特別委員会

◎山岸真知子 ○小林 洋子

虻川 浩 さとう悦子

佐藤 徹 鈴木 洋一

橋本 久雄 比留間洋一

細谷 正 安竹 洋平

山浦まゆみ 山田 大輔

吉本ゆうすけ

議 案 等 に 対 す る 各 議 員 の 賛 否

9月定例会

会派名称略称
() 内は各会派の議員数

政和：政和会（7）
生ネ：生活者ネットワーク（3）

公明：市議会公明党（6）
市民：まちづくり市民こだいら（1…無会派）

フォ：フォーラム小平（4）
一人：一人会派の会（4）

共産：日本共産党小平市議団（3）

区分	番号	件名	議決結果	政和					公明					フォ			一人			共産		生ネ			根	賛	反					
				小野 高一	松岡 あつし	磯山 亮	鈴木 洋一	比留間 洋一	福室 英俊	山田 大輔	津本 裕子	虻川 浩	山岸 真知子	佐藤 徹	橋本 孝二	幸田 昌之	小林 洋子	竹井 ようこ	川里 富美	吉本 ゆうすけ	伊藤 央	中江 美和	橋本 久雄	安竹 洋平				細谷 正	させ 恵美子	鈴木 だいち	さとう 悦子	山崎 とも子
議員提出議案	第8号	選択的夫婦別姓制度について十分な国会審議を求める意見書提出について	原案可決	○	○	※議長	○	○	○	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	0
市長提案	第41号	小平市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	23
○：賛成 ×：反対 退：退場 ー：欠席 ※議長は表決に加わりません。																																
全会一致で議決した議案等 ※1 ※2																																
区分	番号	件名	議決結果	番号	件名	議決結果																										
議員提出議案	第5号	小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会の設置について	原案可決	第11号	東京都心身障害者福祉手当に関する条例において精神障害者を適用対象とすることを求める意見書提出について	原案可決																										
市長提出議案	第26号	小平市教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同 意	第37号	小平市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例	原案可決																										
	第27号	小平市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同 意	第38号	小平市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	原案可決																										
	第28号	小平市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意	第39号	小平市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例	原案可決																										
	第29号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意	第40号	小平市立保育園等の利用者負担額に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決																										
	第30号	令和元年度小平市一般会計補正予算（第2号）	原案可決	第42号	小平市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	原案可決																										
	第31号	令和元年度小平市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第43号	小平市廃棄物の減量及び処理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決																										
	第32号	令和元年度小平市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第44号	小平市消防団に関する条例の一部を改正する条例	原案可決																										
	第33号	令和元年度小平市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	第45号	小平市立小平第十二小学校増築工事（建築工事）請負契約の締結について	原案可決																										
	第34号	令和元年度小平市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	第46～50号	市道路線の認定について	原案可決																										
	第35号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	第51号	市道路線の廃止について	原案可決																										
	第36号	小平市印鑑条例の一部を改正する条例	原案可決																													
請 願	第1号	東京都に対し東京都心身障害者福祉手当に関する条例において精神障害者を適用対象とすることを求める意見書の提出について	採 択																													

※1 議長は表決に加わりません。
※2 佐藤 徹議員は欠席のため表決に加わりません。

政 務 活 動 費 収 支 報 告

平成30年度と平成31年４月分の政務活動費について、その収支を報告します。収支報告は、原則、前年度１年分に対して行いますが、今回は、令和元年５月に議員の改選が行われたことから、改選前の議員任期における平成31年４月分についても、あわせて報告します。

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項から第16項まで及び小平市議会政務活動費の交付に関する条例の規定により、議員の調査研究その他の活動に資するため、必要な経費の一部として、議会における会派に対して交付されるものです。
会派の所属議員数に応じ、１人当たり月額３万円をかけた金額がその年度に交付されます。交付を受けた会派には、年度終了後に政務活動費収支報告書を提出することが義務づけられています。

平成30年度 会派別収支状況

単位：円

経費項目			会 派 名 ・ 人 数（平成31年３月31日現在）							合計
			市議会 公明党 ６人	フォーラム 小平 ６人	政和会 ５人	日本共産党 小平市議団 ４人	生活者 ネットワーク ４人	緑の党 こだいら １人	ムサシ １人	
交付決定額（Ａ）			2,160,000	2,160,000	1,800,000	1,440,000	1,440,000	360,000	360,000	9,720,000
支 出	調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	490,732	665,287	436,342	20,048	349,230	0	0	1,961,639
	研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費	1,093,163	63,310	0	304,106	162,948	14,292	0	1,637,819
	広報費	会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費	220,458	0	96,744	0	364,635	294,514	0	976,351
	広聴費	会派が行う市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費	0	1,254,482	0	86,340	0	0	0	1,340,822
	要請及び陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	会派が行う各種会議を開催するために必要な経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	85,979	27,636	1,628	31,957	0	0	0	147,200
	資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	106,478	69,412	58,968	129,574	212,327	83,671	0	660,430
	人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計（Ｂ）			1,996,810	2,080,127	593,682	572,025	1,089,140	392,477	0	6,724,261
返還額（Ａ－Ｂ）			163,190	79,873	1,206,318	867,975	350,860	0	360,000	3,028,216

平成31年4月分 会派別収支状況

単位：円

経費項目			会 派 名 ・ 人 数（平成31年４月30日現在）							合計
			市議会 公明党 ６人	フォーラム 小平 ６人	政和会 ５人	日本共産党 小平市議団 ４人	生活者 ネットワーク ４人	緑の党 こだいら １人	ムサシ １人	
交付決定額（Ａ）			180,000	180,000	150,000	120,000	120,000	30,000	30,000	810,000
支 出	調査研究費	会派が行う市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費	0	6,901	0	0	9,864	0	0	16,765
	研修費	会派が研修会を開催するために必要な経費及び団体等が開催する研修会の参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	広報費	会派が行う活動及び市政について市民に報告するために要する経費	5,875	0	5,875	0	0	0	0	11,750
	広聴費	会派が行う市民からの市政及び会派の活動に対する要望、意見の聴取、市民相談等の活動に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	要請及び陳情活動費	会派が要請及び陳情活動を行うために必要な経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	会議費	会派が行う各種会議を開催するために必要な経費及び団体等が開催する意見交換会等各種会議への会派としての参加に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	会派が行う活動に必要な資料の作成に要する経費	0	173,340	0	0	0	0	0	173,340
	資料購入費	会派が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費	0	0	0	0	16,541	12,270	0	28,811
	人件費	会派が行う活動を補助する職員を雇用する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
	事務所費	会派が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費	0	0	0	0	0	0	0	0
支出合計（Ｂ）			5,875	180,241	5,875	0	26,405	12,270	0	230,666
返還額（Ａ－Ｂ）			174,125	0	144,125	120,000	93,595	17,730	30,000	579,575

各会派の収支報告書や領収書等は、議会図書室でごらんいただけるほか、ホームページでも公開しています。
詳しくは小平市議会のホームページ（<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>）をごらんください。

市政を問う 一般質問要旨

一般質問とは

議員が市政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について質問することをいいます。一般質問（要旨）につきましては、議員ごとにまとめたものを掲載しております。

これまでの会議録は、小平市議会ホームページで、閲覧・検索ができます。動画もご覧になれます。



提供公園設置の判断基準を
明確に／外国人との共生社会の推進
橋本孝二議員（市議会公明党）

寄附及び開発行為時の提供公園
設置の判断基準を明確にすべき

質問 ①土地、建物、現金が寄附された上水南町二丁目の物件における課題及び改善点は何か。

②仮称回田町開発事業における公園設置不要の判断の経緯は。市長 ①遺言者の父の関係者等から土地は売却せず全て公園としてほしいとの要望があり事業に遅れが生じている。今後、市に負担をかけないという遺言者の意向等を丁寧に説明し売却の理解を得られるよう努めていく。

②土地を分割取得した3社のうち1社が開発手続を開始した際、各事業者に、事業面積が3

千平方メートル未満で大規模開発事業には当たらないことを確認した。地域の外国人との共生社会への環境整備をより推進すべき

質問 ①現在の外国人に対する日本語教育推進の実態はどうか。②現在の外国人に対する地域防災推進の実態はどうか。市長 ①小平市国際交流協会で成人の外国人を対象に日本語会話教室の開催等している。平成27年度から小・中学生を対象に子ども日本語教室を開催し、習得できるよう取り組んでいる。

②防災マップの避難所等を英語、中国語、韓国語で表記し情報提供を行うなどしている。



要望書の扱い方について問う／
学童クラブでの宅配弁当の導入
吉本ゆうすけ議員（フォーラム小平）

小平市視覚障がい者協会の要望書を通し要望書の扱い方を問う

質問 ①昨年1年間、文書で寄せられた団体からの要望書数は。②7月25日に提出された視覚障がい者協会の要望書について、市のこれまでの対応は。③何年も継続的に寄せられている要望について検討されたことなどを提出者に伝えているか。市長 ①30年度は41件収受した。

②現在、障がい者支援課及び関係課で、それぞれの所管に属する要望事項を検討している。③その都度伝えることは難しいが、改めて要望を受けた際等の機会に伝えるよう努めている。

学童クラブでの
宅配弁当の導入について

質問 ①学童クラブでの宅配弁当導入について現在の考え方は。②仮に導入を検討した場合、考えられる課題は。市長 ①学童クラブは放課後の居場所を提供する事業であり、国の方針では昼食の提供を想定していないため、市が主体の宅配弁当等の提供は考えていない。

②納品された宅配弁当の保管場所の確保等の施設・設備面での課題、アレルギーのある児童への対応や緊急時に備えた研修等の食の安全面での課題など多岐にわたっていると捉えている。



天候不順等による学校プールの
あり方／中高生の居場所の充実
幸田昌之議員（市議会公明党）

天候不順等による
小中学校プールのあり方について

質問 ①プールの年間維持費は。②先進自治体の水泳授業の民間委託について市の見解は。教育長 ①平成30年度は主に水道代が約2千3百20万円、プール薬品が約3百60万円、修繕料が約千2百50万円、清掃や機器保守等の委託料が約3百60万円。

中 高 生 の 居 場 所 を
充 実 さ せ る べ き



窓口改善の取り組み／市庁舎の
受動喫煙防止対策の取り組み
中江美和議員（二人会派の会）

市の窓口改善の取り組みについて

質問 ①総合窓口委託化について、変更点を中心とした概要は。②窓口サービス改善の方針に掲げた18施策の進捗状況は。市長 ①これまでのフロア案内等に加え7月から市民課と保険年金課の窓口業務も一部を除き委託化を行っている。市民課窓口は税証明の発行等も行うよう業務を拡大し総合的な窓口として運用を開始するなどしている。

②今回の一連の取り組みのベイスとなるものであることから、全体的に一定程度の進捗が図られているものと認識している。



ベビーチェア等の設置が予定されている、小平グリーンロードに隣接する公園のだけでもトイレ

**小平グリーンロードをさらに活用し
安全で快適なまちづくりを**

津本裕子議員（市議会公明党）

**小平グリーンロードをさらに活用し
安全で快適なまちづくりを****質問** ①歩行者・自転車の分離
通行を進めるべきだが見解は。**②不審者対策で、小・中学校
の児童・生徒を対象に現地での
避難行動の確認等をすべきでは。****③隣接公園について、ベビー
チェアやおむつ交換台整備のト
イレを設置すべきではないか。****④文化財活用で、仮称グリー
ンロード市民円卓会議など市民
の知恵を集める場が必要では。****市長** ①場所により管理公園と
しての緑道など整備形態等が異
なるほか利用者の通行状況もさ
まざであることから、1つの**大規模開発の現状と市街地形成
聞こえのバリアフリーを**

きせ恵美子議員（日本共産党小平市議団）

**大規模開発の現状と
市街地の形成****質問** ①3千平方メートル以上の土地
を開発する場合、公園等の整備
が条例どおり遵守されているか。**②今後、市は良好な住環境形
成、特に緑地等の確保をどのよ
うに進めていくか。****市長** ①開発面積の6%以上の
公園及び緑地が整備されている。**②良好な市街地の形成につな
がるよう事業主に引き続き指導
するほか特別緑地保全地区等の
指定を所有者の理解を得て行っ
ている。3千平方メートル未満の開発
事業ではフェンスを生け垣にす
るなどの協力をお願いしている。****市街地の形成****保育園の縮減方針と保育の質
住みなれた地域で安心の介護を**

鈴木だいichi議員（日本共産党小平市議団）

**公立保育園の4園縮減方針で
保育の質は保てるか****質問** ①小平市保育園父母の会
の連絡会との意見交換及び市主
催の説明会において録音や記録
がないことが明らかになった。**②聴力低下が見られる人の早
期からの補聴器使用の重要性は。
③補聴器の利用促進対策の拡
充を提案するが見解は。****市長** ①難聴は日常生活に影響
を及ぼし、危険を察知できない
などの問題の原因にもなり得る
ため重要であると認識している。**②コミュニケーションがとり
やすくなり認知症の予防等につ
ながるため重要と認識している。
③補聴器装着は高い効果が期
待できることから研究していく。****市街地の形成****土地取引等における条例軽視は、
まちづくりの根幹を揺るがす**

安竹洋平議員（二人会派の会）

**土地取引等における条例軽視は、
まちづくりの根幹を揺るがす****質問** ①大規模土地取引の届け
出は取引契約の3か月前に行わ
なければならぬが、回田町218
番周辺で行われている宅地開発
では契約締結後の届け出と遅れ
たことについて、経緯、原因、
対処、再発防止策は。**②市は小さな公園をなるべく
ふやしたくないと聞く。今後、
生産緑地の宅地化が進む過程で
都市計画法規定による公園等が
ふえ維持管理費が増大すること
をどう捉えどう対処するか。****市長** ①平成28年1月に土地売
買の相談があり届け出等の説明
を求めた。**市街地の形成****グリーンロードを安全な遊歩道に
消火活動に必要な水の確保**

鈴木洋一議員（政和会）

**小平グリーンロードを
安全に散策できる遊歩道に****質問** ①喜平橋からこもれびの
足湯までは木の根が張り出して
いるなど雨の日は危険だがゴム
チップ舗装にする予定はあるか。**②あかしあ通りグリーンロー
ド化事業は進んでいるか。****市長** ①当区間は、一部を除き
都の管理のため、安全に通行で
きる路面整備を要望していく。**②27件の取り組みのうち平成
29年度末時点で、実施済みが2
件、一部実施が15件、検討中が
10件である。今後も社会状況の
変化等を踏まえ、計画の見直し
を含めた事業推進に努めていく。****市街地の形成****虐待問題と高齢者対応／室内灯
LED化交換・設置計画策定を**

蛇川 浩議員（市議会公明党）

**虐待問題とライフスタイルを
変えざるを得ない高齢者対応****質問** ①幼稚園、保育所等の職
員等からの子ども虐待の事例は
あるか。また、発生時の対応は。**②要介護度が進み施設入所等
ライフスタイルを変えていかざ
るを得ない高齢者の相談対応は。
市長** ①市が把握した事例はな
い。事例が発生した場合、都と
連携しながら事実確認を行った
上で改善に向けた指導等を行う。**②ケアマネジャーが本人の心
身状態の変化等を確認し個々の
状況に応じた対応をするなどし
ている。対応が困難な場合には
市が直接相談に応じ、関係機関****市街地の形成****市街地の形成****同じクラスのみんなのために
2020 オリ・パラについて**

さとう悦子議員（生活者ネットワーク）

**小・中学校でサポートが必要な
子どもたちの支援体制について****質問** ①公立小学校で行ってい
る特別支援教室の課題は。**②外国にルーツがある困難を
抱える子どもたちへの支援は。
③不登校の子どもたちの人数
とサポートについては。****教育長** ①利用する児童の増加
への対応と巡回指導教員の育成
や研修の充実などが課題である。**②国際交流協会と連携し日本
語指導の経験がある講師を派遣
③昨年度は小学校100人、中学
校158人。実態を把握し、関係教
職員でのケース会議開催等、組
織的に対応するなどしている。****市街地の形成**



鷹の台駅周辺のまちづくり／
ワクチンで防げる病気の予防

山岸真知子議員（市議会公明党）

鷹の台公園等の整備を見据えた
鷹の台駅周辺のまちづくり

質問 ①元三菱UFJ銀行鷹の
台出張所跡地取得に向けた協議
の今後の進捗状況は。

②鷹の台公園の本格整備は市
民参加で計画策定に取り組むべ
きだが、手法についての考えは。

③公園整備の際、たかの台本
通りの拡張等も検討できないか。

市長 ①取得にかかる用地費の
算定や測量作業を進めている。
②ワクショップやアンケート
等で市民の意見を聞いていく。
③整備基本計画を策定する段
階で、たかの台全体のまちづく
りの視点でさまざまな可能性を

考慮し公園づくりを進めていく。

ワクチンで防げる病気を
しっかり予防しよう

質問 ①風疹の第5期定期接種
事業について抗体検査受診等を
促進するため講じている方策は。

②いすみ市のようにHPVワ
クチンが定期接種であることを
周知する通知を検討できないか。

市長 ①市報や市ホームページ
を通じて広報に努めている。

②ワクチンとの因果関係が否
定できない副反応の症例が見ら
れたことに伴い、国の通知によ
り積極的な勧奨が差し控えられ
ていることから、対象者への個
別通知は難しいと考えている。



情報弱者の対応強化／テレワーク
事業推進／子どもたちの安全

川里富美議員（フォーラム小平）

情報を得ることに困難を感じて
いる方への対応強化を求める

質問 ①アンブルボード購入の
進捗状況は。

②市のお知らせチラシに統一
規格としてFAX番号を載せら
れないか。

市長 ①3台購入し防災訓練等
で周知、啓発に活用している。
②今後検討していく。

テレワーク事業の推進を市を
あげて取り組むべき

質問 ①すだち導入時のテレワ
ーク事業の目標と現在の状況は。
②テレワーカーをふやすため
に今後何をしていくのか。



説明会は事業の最初に／事業評価や
予算編成に市民意見反映を

橋本久雄議員（二人会派の会）

市民説明会は事業の最初に行え、
市民参加が形骸化している

質問 ①説明会等を行うタイミ
ングについてのルールはあるか。

②事業がスタートするときに
説明会を行わない理由は。

③事業内容確定時でしか説明
会等を行わないのは自治基本条
例等の理念に反しないか。

市長 ①都市計画法に基づく計
画を除き、特にルールはない。
②開始前に行うこともある。

③事業の内容等に応じた意見
聴取の取り組みを行っている。

事務事業評価や予算編成に市民
意見を反映させる仕組みがない

市民説明会は事業の最初に行え、
市民参加が形骸化している

②事務事業評価で見えてきた
課題は。

③町田市のような市民参加型
事業評価制度の導入への考えは。

④冊子、わかりやすい予算を
テキストに説明会ができないか。

市長 ①事務事業の見直しや改
善に継続的に取り組んでいる。
②正確なコストの把握や事務
上の効率性に課題がある。

③当市の事務事業評価とは性
格が異なるもので、現在、外部
評価を行うことは考えていない。

④希望者への出前講座の開催
等、直接市民に説明する場等設
けており説明会は考えていない。



花小金井武道館の代替施設と
継続利用／回田町の宅地開発問題

水口かずえ議員（まちづくり市民こだいら）

花小金井武道館の代替施設の
確保と継続利用について

質問 ①文化学園大学を貸して
もらえない理由は。

②第十一小学校校舎更新時に、
体育施設として使用可能な設備
を設け、住民が利用できないか。

③武道館を劣化診断し、長く
利用できるようにしてはどうか。

市長 ①武道館の耐震補強工事
に伴う代替施設として大学の協
力で提供された経緯から工事完
了後は無理をお願いできないが、
継続的情報交換等を行っている。

②花小金井武道館の代替施設
としての検討はしていない。
③機能移転の基本方針どおり



実践的シチズンシップ教育／
福祉避難所開設運営マニュアル

山崎とも子議員（生活者ネットワーク）

実践的シチズンシップ教育を
すすめるよう

質問 ①次期長期総合計画策定
に向けて小学校出前授業やイン
タビューで得た意見をどのよう
に計画策定に取り入れていくか。

②計画策定までに子ども・若
者の参加の機会はあるか。

③市制施行60周年事業として
子ども議会を行う計画はあるか。

市長 ①長期総合計画基本構想
の審議会や庁内の策定検討委員
等の審議の中に生かしていく。

②今後、地域懇談会を開催す
る際に参加を広く呼びかけるほ
か骨子案について周知していく。

③現在計画はないが、記念事

業については今後検討していく。

誰も取り残さない福祉避難所
開設・運営マニュアルについて

質問 ①福祉避難所開設・運営
マニュアルを作成するに当たり、
当事者をメンバーに入れる予定
はあるか。

②福祉避難所を設置する際の
課題は何か。

市長 ①具体的なマニュアル作
成のために当事者に携わっても
らうことも含め、高齢者や障害
者の意見や考え方を聞く機会を
設けていくことなどを検討する。

②災害対策本部との通信手段
避難所運営の人員、備蓄品確保
等に課題があると認識している。



小平駅周辺まちづくり／パラ
リンピックで共生社会への変革を

竹井ようこ議員（フォーラム小平）

小平駅周辺の
魅力あるまちづくりについて

質問 ①小平駅北口地区再開発
事業の進捗と南口との連携は。

②南口駅前自転車駐車場を地
下化し民間貸与等をする考えは。

③市民まつりを駅前のあかし
あ通りから開催してはどうか。

市長 ①準備組合から2年度に
都市計画決定、3年度に組合設
立認可取得を目標と聞いている。
南口との連携ではさらなる協力
体制等構築、産業活性化等が図
られることが望ましい。両地区
の連携の推進に取り組んでいく。

②現在、地下化の計画はなく、
当該用地の活用は考えていない。



家庭的保育事業者／
福祉会館前広場について

小林洋子議員（フォーラム小平）

家庭的保育事業者について

質問 ①保護者への周知改善は。

②定員にあきがある際の弾力
的運用とは。

③定員割れとなった家庭的保
育事業者に対する支援策は。

市長 ①事業者作成のリーフレ
ットを配布し、子育て応援サイ
トこだちに写真入り紹介記事を
掲載してもらうなどしている。

②2人定員の年齢にあきがあ
る場合はほかの1人定員の年齢
を2人に変更して対応している。

③一次選考で非内定となった
児童の保護者に施設のアキ情報
を知らせるなどしている。

福祉会館前の
市民広場について

質問 ①使用している団体から
の要望及びそれに対する回答は。

②ゲートボールの団体から屋
根をつけてほしいとの要望があ
るかどうか。

③今後の福祉会館前の市民広
場をどのように考えているか。

市長 ①イベント時の電源使用
の要望があり自費での仮設電源
設置工事をお願いするなどした
②多目的な使用を前提として
いるので考えていない。

③中央公民館等の更新等に関
する仮称新建物の建設予定地と
して想定している。



多目的に使用されている福祉会館前の市民広場



市内の空き家について／
GAP 認証農産物を広めよう

比留間洋一議員（政和会）

小平市内の空き家について

質問 ①把握している空き家の数と過去4年間の推移はどうか。

②どのような方策で空き家に対処しているか。

市長 ①元年7月末までに相談等で把握している空き家等は408件である。平成27年度末で203件、28年度末で241件、29年度末で299件、30年度末で379件である。

②空き家等対策の推進に関する特別措置法等に基づき空き家等が管理不全な状態にならないよう所有者等に適正管理を促しているほか空き家等対策計画を策定し、予防、適正管理、利活用

用の対策を定め取り組んでいる。

GAP 認証農産物を
小平市から広めよう

質問 ①GAP 認証取得農業者は何人いるのか。

②GAP 認証取得農業者への支援等しているのか。

市長 ①東京都GAP及び民間認証GAP取得者が3人、民間認証GAPのみの取得者が1人で、合計4人である。

②都では持続可能な東京農業の実現等に向けて認証取得や維持に必要な環境整備の支援を行っている。市でも都やJA東京むさしと連携しGAP 認証制度等の情報提供を行っている。



SNS等の活用によりICTの
力で市民サービスを上げよう

松岡あつし議員（政和会）

SNS等の活用によりICTの
力で市民サービスを上げよう

質問 ①地域センターのインターネット予約はできないか。

②福岡市等で行っている生活に密着した情報の中から選択した情報をSNSでタイムリーに届けるサービスができないか。

③SNSで住民票の申請から支払い・取得まで行うワンストップサービスを実施できないか。

④SNSで市民から道路・河川・公園の傷みの通報を受け付ける仕組みを実施できないか。

市長 ①検討を進めている。



非核平和事業の継続、発展問う／
小川駅西口再開発と周辺課題

細谷 正議員（日本共産党小平市議員団）

非核平和事業の継続、発展及び
米軍横田基地について問う

質問 ①広島市立基町高等学校の生徒と被爆証言者との共同制作による原爆の絵を展示資料として検討しているのか。

②市長部局との連携で非核平和事業の発展をすべきでは。

教育長 ①展示スペース等を勘案し、検討していく。

②悲惨な戦争体験を次の世代に引き継いでいくために息長く継続した事業実施が肝要である。

小川駅西口地区再開発事業と
周辺諸課題について

質問 ①再開発準備組合総会と

周辺説明会への市の受けとめは。

②小川西町三丁目周辺地区まちづくり地域懇談会の昨年度の実績と、今年度の進捗は。

市長 ①6月の通常総会では権利者間で事業の必要性に対する理解はおおむね得られている。8月の周辺説明会では延べ77人が参加、多くの質問や要望が出された。引き続き積極的かつ丁寧な情報発信に努めていく。

②昨年度は3回開催した。本年度は4回程度開催する予定である。多く参加してもらうため自治会等を通じ働きかけている。

【掲載分以外の質問項目】
○年金のみで生活できない実態の把握を急ぐべき



市民主体の公園づくり等推進／
喫煙者に積極的禁煙促進ケアを

山浦まゆみ議員（生活者ネットワーク）

市民主体の公園づくり、公園活用を
推進する仕組みをつくる

質問 ①市民が利用しやすい公園の整備は市の重要な役割では。

②新たな公園づくりや公園の利活用は市民主体ですべきでは。

③市内の小規模公園を市民に親しまれる場所にしていくためにどのような取り組みが必要か。

市長 ①地域に愛される安全性の高い公園等の整備を目指しており、重要な役割の1つである。

②市が整備する公園は市民の意見を踏まえた整備が重要。

受動喫煙防止対策とともに
市は積極的な禁煙促進ケアを

質問 ①屋外公衆喫煙所はどこに設置されているか。

②公共施設敷地内の喫煙所撤去後、喫煙者の行動への把握は。

③喫煙をやめられない人への、禁煙外来紹介以外の支援策は。

④禁煙サポートのための相談窓口を設置する考えはあるか。

市長 ①市内の駅4か所に設置。②特に把握していない。



吹奏楽のまちこだいらの推進／
市民文化会館の大規模改修を

山田大輔議員（政和会）

吹奏楽のまちこだいらをまち
づくりの観点から推進すべき

質問 ①吹奏楽のまちこだいらについての市の見解はどうか。

②羽村市の小中一貫教育音楽担当学習コーディネーター配置のシステムを導入すべきでは。

市長 ①小平市文化振興財団が活発な吹奏楽活動に着眼し、地域特性を生かした取り組みと認識しており、親しみあるキャッチフレーズと捉えている。

教育長 ②吹奏楽部の運営方針に基づき顧問を中心とした部活動指導員等による指導で運営している。現時点で配置の予定はないが、全ての部活動が持続的に実施できるよう支援していく。

に実施できるよう支援していく。

小平市民文化会館の大規模
改修計画を大至急進めるべき

質問 ①平成25年度に行った劣化診断結果はどうか。

②大規模改修の計画はどうか。

市長 ①経年劣化での汚れや傷みが多数発生している判定となり築60年までの長期保全に対する修繕等の工費は概算で百億円規模が必要との結果になった。

②現在、具体的な計画はない。緊急性が高く改修や更新が必要な設備等の予算措置を行っている。近隣の類似施設の改修事例等を検証し、今後も安心して利用できるよう検討していく。

吹奏楽のまちこだいら発のポスター

吹奏楽のまちこだいら

吹奏楽フェスティバル2019

会場：ルネこだいら 入場無料

3月23日（土）15:00開演 中ホール

3月24日（日）14:30開演 中ホール

3月25日（月）18:00開演 大ホール

3月26日（火）18:00開演 中ホール

3月27日（水）14:30開演 大ホール

3月28日（木）18:00開演 大ホール

3月29日（金）18:00開演 大ホール

3月30日（土）12:00開演 大ホール

3月31日（日）18:00開演 大ホール



用語の解説

※1 Society5.0

時代とは

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会と定義される新しい時代のこと。

※2 ストレイナーとは

吸水時に、水中に含まれる異物を除去するため、網状の穴を通してろ過する装置のこと。

※3 アンブルボードとは

アクリルボードにマーカーで書いた文字をLEDで光らせ、暗所で視覚的な情報伝達を可能とする災害時の情報伝達、避難誘導用具のこと。

※4 テレワークとは

情報通信技術を活用した、場所や時間にとわれない柔軟な働き方のこと。

議員の寄附行為は
禁止されています

政治家が、選挙区内の人や団体にいさつ状（答礼のための自筆によるものは除く）を出したり、お金や物を贈ることは、時期や理由を問わず法律で禁止されています。受け取った人も罰せられます。

また、有権者が政治家に対し寄附を求めることも禁止されています。

具体例は次のとおりです。

○お中元やお歳暮

○お祭りへの寄附や差し入れ

○秘書や家族などが代理で出席する場合の結婚祝いや香典

○葬式の花輪や供花

○落成式、開店祝いの花輪やお祝い

○運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れなど

市民の皆様のご理解とご協力をお願いします。

市議会
ホームページ

小平市議会のページには、さまざまな機能が

ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 042 (346) 9566

FAX 042 (346) 9567

音声市議会
だより



5月、8月、11月、2月の年4回、目の不自由な方に音声による市議会だより（カセット版またはデジ版）を発行しています。

ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 042 (346) 9566

FAX 042 (346) 9567

請 願



9月定例会では、請願2件を新たに受理し、1件を採択、1件を継続審査としました。

採択した請願は意見書の提出を求めるもので、意見書欄に要旨を掲載しています。また、閉会中の継続審査となった請願は左記のとおりです。

閉会中継続審査の請願一覧

厚生委員会

請願第2号

精神障害者への小平市心身障害者福祉手当の支給を求めることについて

意見書

9月定例会では2件の意見書を可決し、関係機関へ送付しました。（要旨）

意見書とは、地方公共団体の公共の利益に関することについて議会としての意思を意見としてまとめ、国会または関係行政庁に文書で提出するものです。（地方自治法第99条）

選択的夫婦別姓制度について十分な国会審議を求める意見書

我が国において夫婦が同じ氏を称する夫婦同氏制が導入されたのは、明治31年であり今から121年前になります。

平成30年に内閣府が公表した世論調査では、夫婦同姓も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別姓制度の導入に賛成・容認と答えた国民は、66・9％となり反対の29・3％を大きく上回ったことが明らかになりました。

平成27年に最高裁判所は、夫婦同姓制度は合憲としながらも、

市民と議会の意見交換会を4会場で開催します

今回は、9月定例会の報告を行ったのち、会場ごとに設定されたテーマをもとに市民の皆さんと意見交換を行います。詳しい内容は以下のとおりです。ご参加をお待ちしています。

みんなで考える みちづくり・まちづくり
～あかしあ通りグリーンロード化について～
日時：11月4日（月）
午前10時～正午
場所：鈴木地域センター第一、第二集会室
担当：環境建設委員会班

ICTの利活用による
小平の未来のかたち
日時：11月4日（月）
午後2時～4時
場所：花小金井北地域センター第一、第二集会室
担当：総務委員会班

みんなで考える
「健幸こだいら」
日時：11月5日（火）
午後7時～9時
場所：小川公民館ホール
担当：厚生委員会班

住みたい・行きたい・買ってみたい
～人と店が集まる街こだいらへ～
日時：11月11日（月）
午後7時～9時
場所：小川町一丁目地域センター集会室1・2
担当：生活文教委員会班

費用 無料
定員 各会場40人程度 ※当日直接会場へお越しください（先着順）。
その他 磁気ループ設置・手話通訳あります（申込不要）。
問合せ 議会事務局 042（346）9566

8月の意見交換会では多くのご意見をいただきました ありがとうございました

日時
8月4日（日）
午前10時～正午

場所
中央公民館2階 ホール

参加者数
41人



▲当日の様子

意見交換の内容やいただいたご意見、アンケート結果については、市議会ホームページ（<https://www.city.kodaira.tokyo.jp/gikai/>）のほか、市役所7階議会事務局でもご覧いただけます。

第四次長期総合計画基本構想 特別委員会を設置

現在、市では令和3年度からの市政運営の指針である第四次長期総合計画の策定を進めています。

この計画の基本構想に関する事項について調査・審査を行うために9月定例会初日に小平市第四次長期総合計画基本構想特別委員会を設置しました。この特別委員会は議会において基本構想が議決するまで継続します。

◎委員長 ○副委員長
◎松岡あつし ○橋本 久雄

伊藤 央 川里 富美
さとう悦子 佐藤 徹

竹井ようこ 橋本 孝二

福室 英俊 細谷 正
水口かずえ 山田 大輔

幸田 昌之

議場見学



《小学3年生》

○10月4日 上宿小56人

あ と が き



9月定例会では、令和元年度一般会計補正予算（第2号）など、さまざまな議案について活発な議論が交わされました。

今後よりわかりやすく親しみやすい紙面づくりに広聴広報特別委員一同努めてまいります。

お気づきの点がございましたら議会事務局にお寄せください。

〒187-1801 小平市小川町二丁目

1333番地

TEL 042（346）9566
FAX 042（346）9567